**様式第二号の八**（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２６（令和８）年６月１日

群馬県知事　　様

提出者　　〒377-0007
住　所　群馬県渋川市石原５００番地
氏　名　大同特殊鋼株式会社渋川工場
執行役員工場長　山口　智則

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0279-25-2000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|---|---|
| 事業場の名称 | 大同特殊鋼株式会社渋川工場 |
| 事業場の所在地 | 群馬県渋川市石原５００番地 |
| 計画期間 | ２０２６（令和８）年４月１日から２０２７（令和９）年３月３１日まで |

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

| | |
|---|---|
| ①事業の種類 | 大分類：製造業　　中分類：鉄鋼業 |
| ②事業の規模 | 出荷額　６３，０３１百万円／年（令和７年度） |
| ③従業員数 | ５１７名（２０２６（令和８）年３月３１日現在） |
| ④産業廃棄物の一連の処理の工程 | 表１の通り |

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
表２の通り

（管理体制および管理方法）
①各職場の管理者等による廃棄物置場の点検を定期的に実施し、分別管理状況の監視を行う。
②工場内から発生する廃棄物の処理に係わる標準を整備し、従業員に教育する。
③電子マニフェストシステムにより適正な処理を確認する。
④産業廃棄物処理業者実地審査を定期的に実施し、管理状況を確認する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

**別紙１の通り**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①現状 | 【前年度（令和　　年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 排　出　量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 排　出　量 | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） | | |

産業廃棄物の分別に関する事項

**別紙１の通り**

| | |
|---|---|
| ①現状 | （分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取 |
| ②計画 | （今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） |

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

**別紙１の通り**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①現状 | 【前年度（令和　　年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） | | |

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

**別紙１の通り**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①現状 | 【前年度（令和　　年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） | | |

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（２０２５（令和７）年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず | |
|---|---|---|
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | 4,266.520 t | ― t |

（これまでに実施した取組）

自社処分場の竣工に伴いガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずの処分を開始した。

②計画

【目標】

| 産業廃棄物の種類 | ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず | |
|---|---|---|
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 3,800.000 t | ― t |

（今後実施する予定の取組）

処理・処分委託している量を減少し、自社処分場での処分を増加させる。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

**別紙２の通り**

①現状

【前年度（令和　　年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | | |
|---|---|---|
| 全処理委託量 | t | t |
| 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t |
| 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |

（これまでに実施した取組）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | ②計画 | 【目標】 | | |
| | | 産業廃棄物の種類 | | |
| | | 全処理委託量 | t | t |
| | | 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t |
| | | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| | | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | | （今後実施する予定の取組） | | |
| ※事務処理欄 | | | | |

**別紙２の通り**

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

**表１．産業廃棄物の一連の処理の工程**

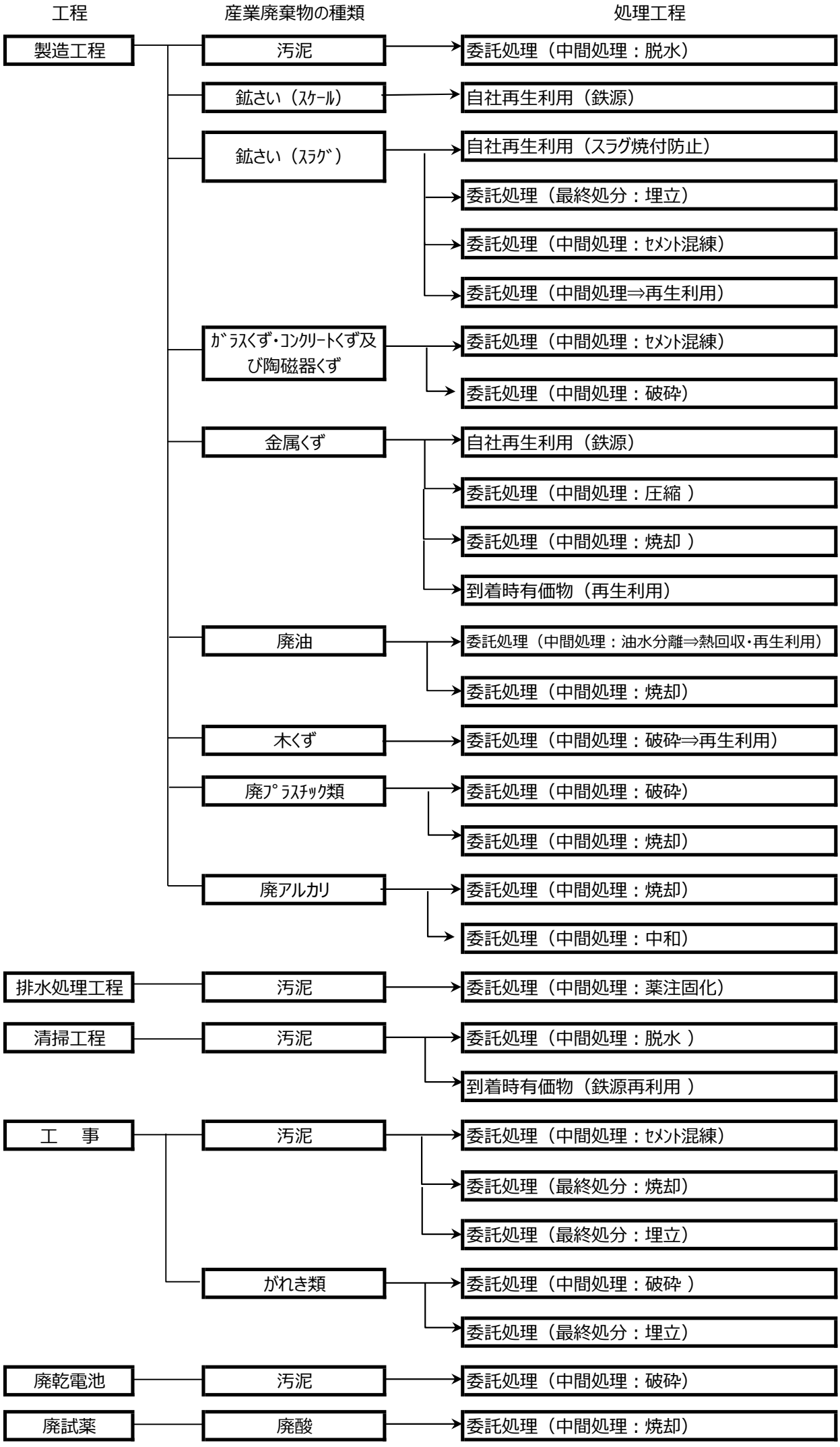
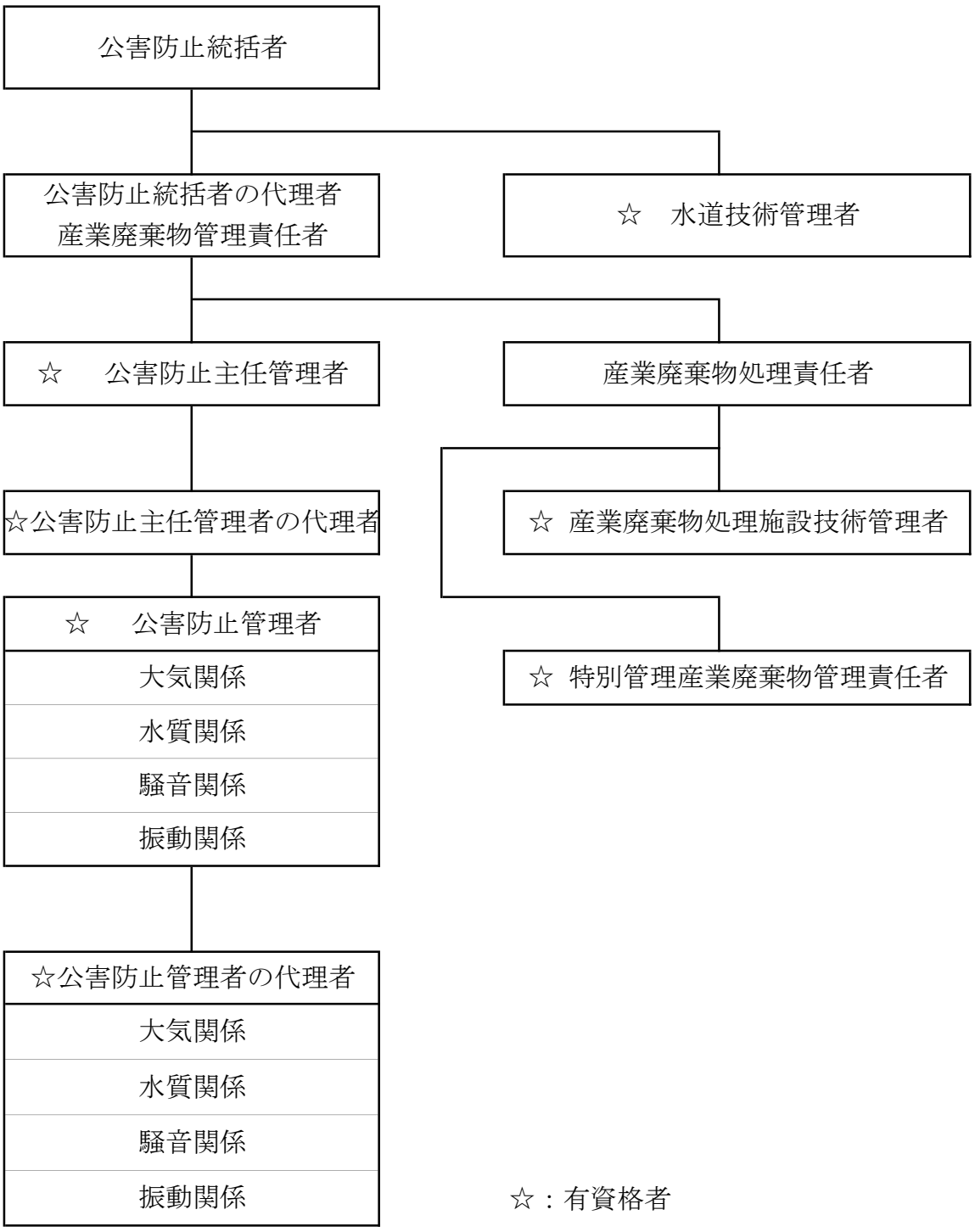


**表２．管理体制図**

# 渋川工場環境管理組織図



産業廃棄物の発生の抑制に関する事項

別紙１

①現状

【前年度（２０２５（令和７）年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ガラス屑及び陶磁器屑 | 金属くず | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 排出量 | 2,259t | 380t | 13,408t | 6,574t | 1,726t | 185t | 210t | 46t | 0t | 16t | 313t |

（これまでに実施した取組）
鉱さい（スラグ）発生抑制のための技術開発を行った。

②計画

【目標】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ガラス屑及び陶磁器屑 | 金属くず | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 排出量 | 3,430t | 1,300t | 12,000t | 6,130t | 1,680t | 180t | 210t | 45t | 1t | 16t | 500t |

（今後実施する予定の取組）
廃棄物発生抑制のための技術開発を継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
工程毎の分別強化を行った。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
工程毎の分別強化を継続し、それぞれの工程に適した再利用、再生利用推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（２０２５（令和７）年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ガラス屑及び陶磁器屑 | 金属くず | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 0t | 380t | 297t | 1,622t | 228t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |

（これまでに実施した取組）
電気炉において鉱さい（スケール）を溶解し、鉄源として回収した。

②計画

【目標】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ガラス屑及び陶磁器屑 | 金属くず | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 0t | 1,300t | 300t | 1,900t | 270t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |

（今後実施する予定の取組）
工場内で発生する金属くずを溶解する工程を確立する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（２０２６（令和７）年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ガラス屑及び陶磁器屑 | 金属くず | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |
| 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 1,660t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |

（これまでに実施した取組）
排水処理汚泥の脱水による減容化を行った。

②計画

【目標】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ガラス屑及び陶磁器屑 | 金属くず | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 50t | 0t | 0t | 0t | 0t |
| 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 1,940t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |

（今後実施する予定の取組）
脱水後の含水率を可能な限り低減する。
木くずを燃料として活用し、熱回収を行う。

別紙２

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（２０２６（令和７）年度）実績】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ｶﾞﾗｽ屑及び陶磁器 | 金属屑 | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全処理委託量 | 599t | 0t | 13,111t | 686t | 1,498t | 185t | 210t | 46t | 0t | 16t | 313t |
| 優良認定処理業者への処理委託量 | 370t | 0t | 4,963t | 0t | 0t | 185t | 0t | 0t | 0t | 16t | 40t |
| 再生利用業者への処理委託量 | 0t | 0t | 1,270t | 0t | 1,385t | 58t | 210t | 0t | 0t | 0t | 0t |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 125t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |

（これまでに実施した取組）

処理委託先については優良認定処理業者の活用を推進する。

②計画

【目標】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 鉱さい（ｽｹｰﾙ） | 鉱さい（ｽﾗｸﾞ） | ｶﾞﾗｽ屑及び陶磁器 | 金属屑 | 廃油 | 木くず | 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 | 廃酸 | 廃ｱﾙｶﾘ | がれき類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全処理委託量 | 1,490t | 0t | 11,700t | 430t | 1,410t | 180t | 160t | 45t | 1t | 16t | 500t |
| 優良認定処理業者への処理委託量 | 1,400t | 0t | 2,760t | 0t | 0t | 180t | 0t | 0t | 1t | 16t | 65t |
| 再生利用業者への処理委託量 | 0t | 0t | 1,750t | 0t | 910t | 50t | 160t | 0t | 0t | 0t | 0t |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t | 120t | 0t | 0t | 0t | 0t | 0t |

（今後実施する予定の取組）

処理委託先について、優良認定処理業者の活用推進を継続する。